



ネリーズ通信

第23号 2022年6月

編集発行責任者 社会福祉法人 練馬区社会福祉協議会



ネリーズ紹介No.20

ネリーズは日々の暮らしの中で、近隣の方たちとつながっていくことで、ゆるやかに見守りあい、誰にとっても暮らしやすい地域づくりを目指している地域の皆さんです。

梶田さんは困難を抱えたこどもにエールを送りたいと「ねりままだいこん」という市民団体を立ち上げ、仕事や子育てと両立しながら活動されています。ボランティアコーナーと連携しながら、渡した時に笑顔になれる服にこだわって衣類等の寄付を続けている梶田さん、ご自身の物語やこだわりをお聞きました。

活動を続けること、伝えることで誰かの動き出すきっかけになれば。

育ってきた環境や看護師という職業柄もあるかもしれませんが、昔から世界の不平等や格差に納得がいかない気持ちが根底にあり、色々なボランティア活動や学びを続けてきました。

「ねりままだいこん」は2016年に立ち上げ、貧困や困難を抱えたこどもたちが孤立しないように、何か元気を送れるようなことがしたいと続けています。今は仕事もしているので、自分の範囲でできることをとを考え、衣類の寄付をボランティアコーナーを通じて続けています。必要な方がいると連絡がきたら、ママ友を中心に呼びかけて集めますが、サイズアウトさえしていなければまだまだ現役！お気に入り!!となる“今着てかわいい服”をお願いしています。リクエストのサイズや性別はもちろん、好みの色やテイストも聞いてもらい、手に取った時に笑顔になれる「相手の思いに寄り添った一着」をお届けすることを意識しています。「着られれば良い」ではなく「これが着たい!」をお届けする、私のこだわりです。

困難を抱える方は様々な負い目から自ら社会と距離を置いてしまうことがあります。そうならないためにも、ねりままだいこんは洋服を通して外見を整えるお手伝いをして、負い目が少しでも軽くなるよう「この洋服が少しでも生活や心の支えになりますように、あなたを応援しています」という想いを伝えたいと思っています。

誰でもささいなきっかけや環境の違いで困難を抱えることはあるし、他人事とは思えません。これからも自分のできることを続けていきたいと思っていますし、自分の活動を伝えることで誰かが動き出すきっかけになるといいなと願っています。



ねりままだいこんも Facebookやってます!

大泉地区
すぎた りえ
梶田 理恵さん



社会の不平等や理不尽なことを「おかしい!」と断言し、「私のやっていることはすき間時間があれば皆さんでできること。地域の人がそれぞれの年代ならではのことを行ったり、ネットワークを活かして行動すればきっと地域は変わっていく」と語るパワフルな笑顔に元気をいただきました。自分に出来ることで行動する、そして伝えることを大事にしている梶田さんはまさにネリーズです。



Facebookに動画をアップしました!

地域福祉活動計画の取り組みを紹介する動画を作成しFacebook(フェイスブック)で紹介しています。投稿は不定期ですが更新していきますので、“いいね”👍や“シェア”でネリーズマインドを広げていきましょう!



Find us on 

練馬区社協
Facebook→



ネリーズほっこりエピソード



街で見かけた、嬉しかった、笑顔・幸せになれた、これもネリーズかな？



我が家の前は小学校の通学路。学校の行き帰り、庭いじりをして「おはようございます」「こんにちは」とあいさつしてくれる女の子がいます。笑顔とかわいらしい声にいやされます。(東大泉の井関さん)

今、コロナで会社にいる社員さんは私が出社する日は5、6人しかいません。



なので自分から行動したりしています。依頼された仕事を終わると「ありがとう」と言われたり「助かる」といわれてうれしいです。(大泉学園町の本原さん)

認知症の方と同行して、お買い物するのを手伝っております。春のお皿がもらえるキャンペーン中、その方が召し上がって空になった袋にシールがありました。事情を話し、1ポイントのシールをいただき、お皿をいただくことができました。次の週いつものようにお会いするとシールをとっておいてくださり、ニコツとして渡してくださいました。お皿を使うたびにその方の温かい心づかいを感じています。



(豊玉南のフィネスさん)

デイサービスでの事。いつもの通り目の前が歩道の大きな窓の席に座っていました。ふと眼を上げると緑色のぼうしをかぶった園児たちがこちらにむかって一生けんめい手をふっていました。びっくり？あわてて!!お返ししました。おかげさまで一日中ほっこりしていました。



(富士見台のせいちゃん)

この前、つつじ公園ですごく元気な年配の男性が話しかけてくれた。その男性は戦争を経験していると言っていて、これまでの人生を語ってくれた。僕なんかまだその半分の50年しか生きていない。まだまだだなどと思うと同時に、人生の大先輩から元気をもらった瞬間だった。



(土支田のカッチャン)



人と人のつながりから笑顔が広がっている様子に「ほっこり」をいただきました!(^^)!

たくさんのご投稿をありがとうございます。

スペースの関係でいただいたすべてのエピソードが掲載できず申し訳ありません。今回も FAX 用紙を同封しております。皆様からの投稿をお待ちしております!!メールでも受け付けています☑

私の一枚 ~ネリーズかるた~

下石神井在住の森さんが選んだ一枚娘が絵を描いた札から選びました。人と人がつながり合っている地域です。お友だちとお祭りに出かけて神社の境内でわいわいと過ごしたあの夏。今年こそ、取り戻せることを願って。



誘いあい まちのお祭り 行ってみよう

読み札の作者エピソード：福祉作業所のお祭りに初めて行った時、いろいろな取り組みを知りました。一緒に行った友達と楽しみ話をしました。まずは知ることでも自分にも何かできないか、行動してみたいという気持ちが芽生えました。

◆お問合せ◆

社会福祉法人 練馬区社会福祉協議会 〒176-0012 練馬区豊玉北 5-14-6 新練馬ビル 5 階

<https://www.neri-shakyo.com/> E-mail/info@neri-shakyo.com TEL 03-3992-5600 / FAX 03-3994-1224